

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る  
事後調査報告書  
(平成 23 年 10 月分)

大 阪 市 港 湾 局  
大阪湾広域臨海環境整備センター

# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 7
3. 調査結果の概要	I - 8

## II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 13

## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 23 年 10 月の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

### 埋立地周辺における調査

表－1 (1) 事後調査の概要 (平成 23 年 10 月)

#### (1)大気質 (図－1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

#### (2)水質

##### ①一般項目 (図－1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<b>●生活環境項目</b> 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月5日	1回/月
<b>●その他の項目</b> 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

##### ②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図－1(2)参照)

##### ②-1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	10月1日～31日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	10月5,11,18,25日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	10月5日	1回/月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表－1（2） 事後調査の概要（平成23年10月）

②－1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	—	<p>4回／年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>		<p>放流水 4回／年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回／年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回／年</p> <p>(8月)</p>

表-1 (3) 事後調査の概要 (平成 23 年 10 月)

②-2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

表-1 (4) 事後調査の概要 (平成 23 年 10 月)

(3)底質

①一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回/年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位 ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン	1点(表層土) 【15】	—	2回/年 (8月、2月)

表－1 (5) 事後調査の概要（平成 23 年 10 月）

(4) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月18, 19日	2回／年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回／年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	—	4回／年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回／年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回／年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回／年 (6月、8月)



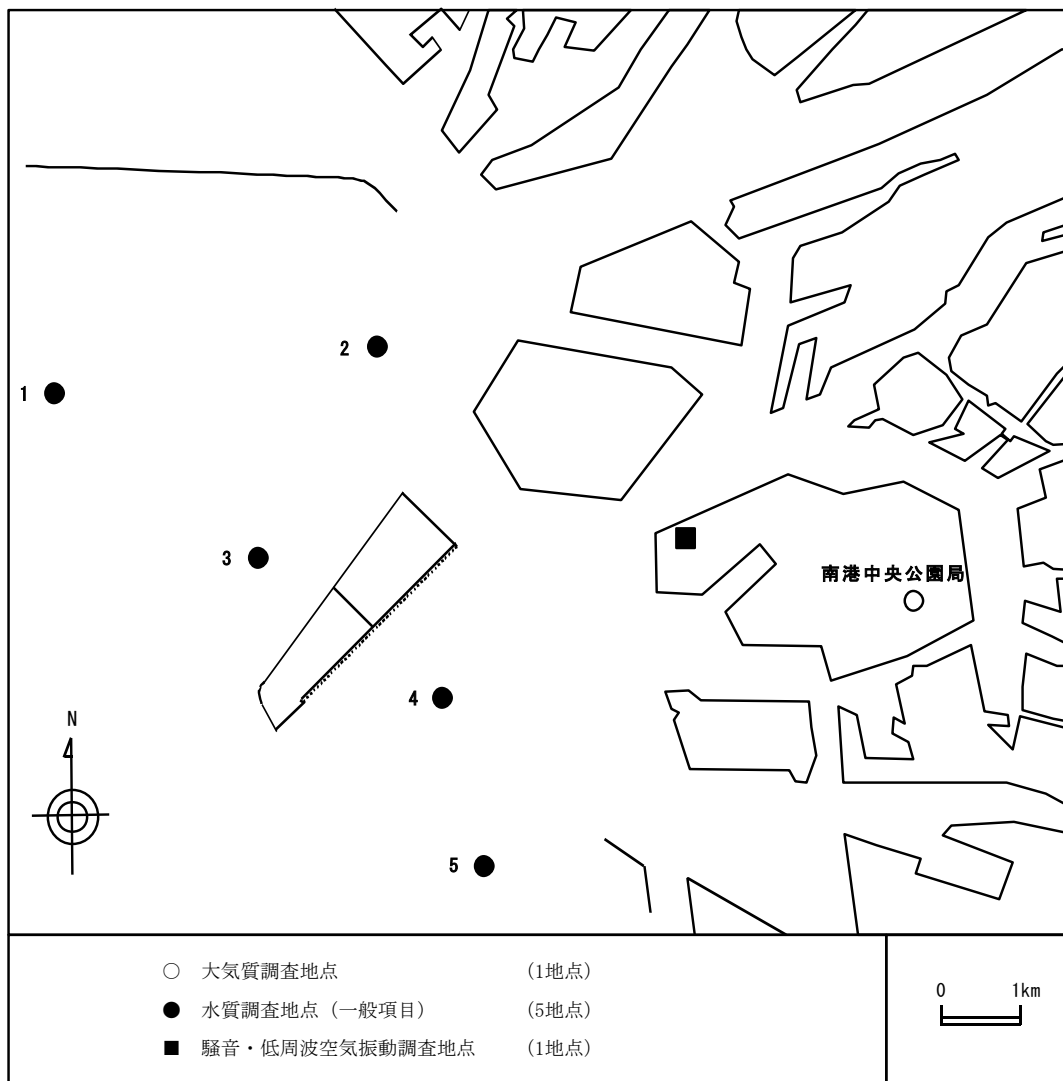


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 23 年 10 月)

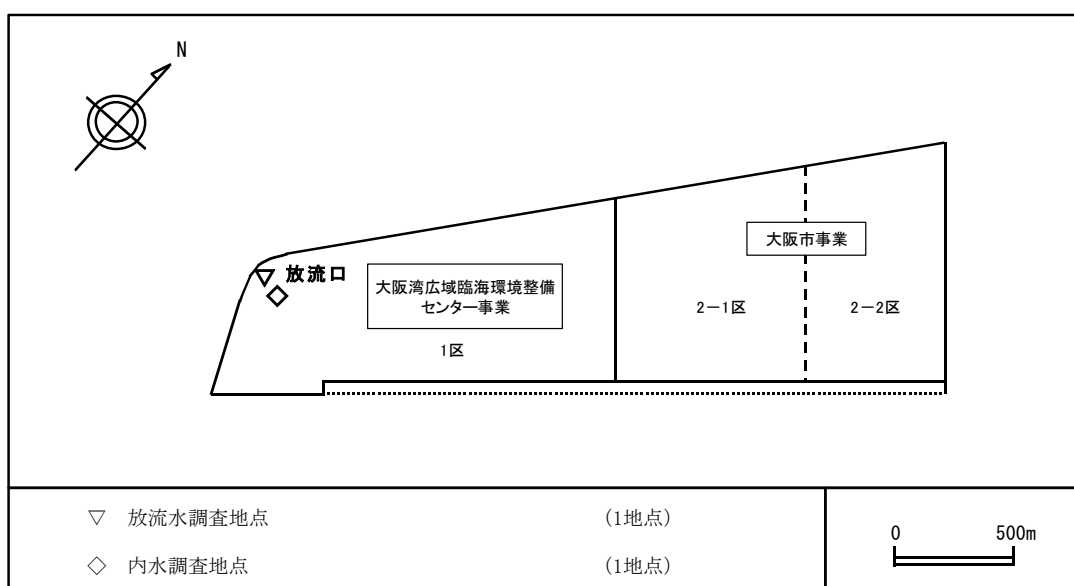
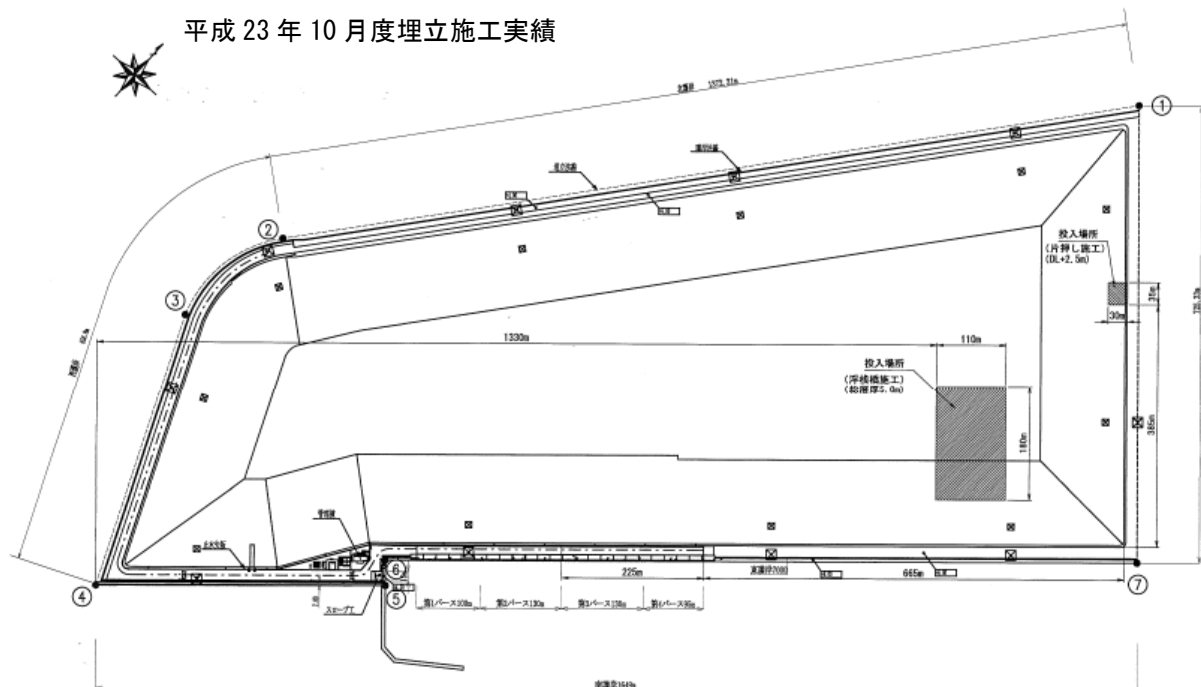


図-1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点 (平成 23 年 10 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 23 年 10 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
1,337,187	9.6

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 23 年 10 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.018ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.029ppm であった。また、日平均値の最高値は0.065ppm であり、環境基準値を上回っていた。日平均値が0.06ppm を超えた日数は、1日であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.030mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は0.059mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.078mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で7.8～8.0、下層で7.9～8.0の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で1.6～3.8mg /L、下層で1.6～1.8mg /L の範囲にあり、上層では調査地点2において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点2 (3.8mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は、上層で1.6～4.9 mg/L であり、この範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】  
溶存酸素量 (DO) は上層で6.0～6.8mg /L、下層で5.0～5.7mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.48~0.64mg/L、下層で 0.33~0.53mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、3、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.64mg/L)、調査地点 3 (0.64mg/L)、調査地点 4 (0.63mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、上層で 0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.041~0.048mg/L、下層で 0.028~0.035mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

6) 濁度

濁度は上層で 1~3 度(カリン)、下層で 1~6 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2~3mg/L、下層で 3~6mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 1~6  $\mu$ g/L の範囲であった。下層では全ての調査地点において報告下限値未満 (<1  $\mu$ g/L) であった。

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6~9 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.2~0.4 度(カリン) (平均値 0.3 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、18.6~22.5℃ (平均値 20.2℃) の範囲であった。

pH は、7.8~8.1 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、2.2~5.1mg/L (平均値 3.0mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、No.1 接触酸化槽において 8.3~9.6mg/L (平均値 8.9mg/L)、No.2 接触酸化槽において 7.1~8.7mg/L (平均値 7.6mg/L) であった。

注 : 1. 水温は、分配槽の温度を測定。

2. DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

## 2) 放流水、内水

### ・放流水

SS は、1.4～2.4mg/L (平均値 2.0mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、報告下限値未満 (<1) ～1.4mg/L (平均値 1.2mg/L) であった。

pH は、8.1 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、9.2mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、2.4mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

### ・内水

SS は、3.6～10mg/L (平均値 7.0mg/L) の範囲であった。

FSS は、1.7～4.1mg/L (平均値 2.9mg/L) の範囲であった。

pH は 8.3、COD は 9.6mg/L、T-N は 2.8mg/L であった。

## 3) 護岸外周

10 月は実施せず。

## ②-2 処分場周辺

10 月は実施せず。

## (3) 底質

10 月は実施せず。

## (4) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1～4 号]

### 1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル ( $L_{eq}$ ) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 50 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 52 デシベルであり、昼間は環境基準値以下であったが、夜間に環境基準値を上回っていた。

なお、夜間を通じて主音源は虫の鳴き声であったことから、夜間において環境基準値を上回ったのは、虫の鳴き声の影響によるものであると考えられる。

### 2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル ( $L_{50}$ ) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 71 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) 以下であった。

(5) 悪臭

10月は実施せず。

(6) 陸域生態系（鳥類）

10月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

10月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1 時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1 時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。  
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について  
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。  
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60デシベル以下	50デシベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。



## 2. 規制基準等

### (1) 水質

#### ①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型 最終 処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	磷含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉛油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm <sup>3</sup> 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。  
 2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

## II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成23年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	734
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	1
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	21
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	532
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成23年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.004	0.010
	2 (日)	0.005	0.008
	3 (月)	0.003	0.004
	4 (火)	0.005	0.012
	5 (水)	0.004	0.006
	6 (木)	0.004	0.006
	7 (金)	0.005	0.008
	8 (土)	0.006	0.010
	9 (日)	0.007	0.012
	10 (月)	0.007	0.010
別	11 (火)	0.006	0.008
	12 (水)	0.006	0.007
	13 (木)	0.007	0.010
	14 (金)	0.004	0.007
	15 (土)	0.003	0.006
	16 (日)	0.006	0.009
	17 (月)	0.007	0.012
	18 (火)	0.004	0.007
	19 (水)	0.007	0.014
	20 (木)	0.007	0.015
値	21 (金)	0.004	0.008
	22 (土)	0.004	0.009
	23 (日)	0.003	0.006
	24 (月)	0.007	0.018
	25 (火)	0.007	0.013
	26 (水)	0.005	0.008
	27 (木)	0.005	0.007
	28 (金)	0.005	0.007
	29 (土)	0.007	0.009
	30 (日)	0.004	0.006
	31 (月)	0.004	0.009
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		734	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.018	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成23年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.001	0.006
	2 (日)	0.001	0.009
	3 (月)	0.003	0.012
	4 (火)	0.011	0.044
	5 (水)	0.016	0.050
	6 (木)	0.005	0.018
	7 (金)	0.004	0.011
	8 (土)	0.008	0.061
	9 (日)	0.001	0.004
	10 (月)	0.003	0.016
別	11 (火)	0.017	0.045
	12 (水)	0.021	0.085
	13 (木)	0.031	0.067
	14 (金)	0.032	0.099
	15 (土)	0.004	0.018
	16 (日)	0.000	0.002
	17 (月)	0.003	0.033
	18 (火)	0.004	0.012
	19 (水)	0.007	0.024
	20 (木)	0.008	0.025
値	21 (金)	0.006	0.023
	22 (土)	0.010	0.051
	23 (日)	0.002	0.015
	24 (月)	0.013	0.048
	25 (火)	0.007	0.022
	26 (水)	0.004	0.009
	27 (木)	0.016	0.099
	28 (金)	0.009	0.030
	29 (土)	0.006	0.031
	30 (日)	0.001	0.002
	31 (月)	0.012	0.062
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.009	
日平均値の最高値 (ppm)		0.032	
1時間値の最高値 (ppm)		0.099	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成23年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.011	0.022
	2 (日)	0.014	0.028
	3 (月)	0.016	0.026
	4 (火)	0.037	0.071
	5 (水)	0.038	0.050
	6 (木)	0.024	0.039
	7 (金)	0.024	0.038
	8 (土)	0.033	0.049
	9 (日)	0.022	0.034
	10 (月)	0.029	0.059
別	11 (火)	0.049	0.067
	12 (水)	0.043	0.061
	13 (木)	0.065	0.098
	14 (金)	0.047	0.062
	15 (土)	0.024	0.046
	16 (日)	0.011	0.019
	17 (月)	0.024	0.056
	18 (火)	0.021	0.035
	19 (水)	0.030	0.041
	20 (木)	0.032	0.047
値	21 (金)	0.028	0.042
	22 (土)	0.025	0.041
	23 (日)	0.018	0.036
	24 (月)	0.030	0.052
	25 (火)	0.022	0.037
	26 (水)	0.019	0.038
	27 (木)	0.033	0.052
	28 (金)	0.039	0.049
	29 (土)	0.037	0.048
	30 (日)	0.020	0.035
	31 (月)	0.031	0.045
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.029	
日平均値の最高値 (ppm)		0.065	
1時間値の最高値 (ppm)		0.098	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		1	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		3	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果[平成23年10月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (土)	0.012	91.7	0.023
	2 (日)	0.016	87.5	0.035
	3 (月)	0.019	84.2	0.038
	4 (火)	0.049	75.5	0.101
	5 (水)	0.054	70.4	0.100
	6 (木)	0.029	82.8	0.057
	7 (金)	0.028	85.7	0.048
	8 (土)	0.042	78.6	0.108
	9 (日)	0.023	95.7	0.034
	10 (月)	0.032	90.6	0.067
別	11 (火)	0.066	74.2	0.101
	12 (水)	0.064	67.2	0.135
	13 (木)	0.096	67.7	0.149
	14 (金)	0.079	59.5	0.159
	15 (土)	0.027	88.9	0.064
	16 (日)	0.012	91.7	0.021
	17 (月)	0.028	85.7	0.089
	18 (火)	0.024	87.5	0.045
	19 (水)	0.037	81.1	0.062
	20 (木)	0.040	80.0	0.063
値	21 (金)	0.033	84.8	0.065
	22 (土)	0.034	73.5	0.089
	23 (日)	0.020	90.0	0.048
	24 (月)	0.043	69.8	0.098
	25 (火)	0.029	75.9	0.059
	26 (水)	0.023	82.6	0.042
	27 (木)	0.050	66.0	0.138
	28 (金)	0.048	81.3	0.078
	29 (土)	0.043	86.0	0.076
	30 (日)	0.021	95.2	0.036
	31 (月)	0.043	72.1	0.106
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		738		
月平均値 (ppm)		0.038		
日平均値の最高値 (ppm)		0.096		
1時間値の最高値 (ppm)		0.159		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		80.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)

$$= \frac{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成23年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (土)	0.016	0.034
	2 (日)	0.015	0.030
	3 (月)	0.011	0.021
	4 (火)	0.017	0.035
	5 (水)	0.019	0.029
	6 (木)	0.012	0.027
	7 (金)	0.033	0.056
	8 (土)	0.040	0.052
	9 (日)	0.041	0.056
	10 (月)	0.043	0.056
別	11 (火)	0.055	0.077
	12 (水)	0.059	0.078
	13 (木)	0.058	0.076
	14 (金)	0.042	0.060
	15 (土)	0.016	0.033
	16 (日)	0.029	0.049
	17 (月)	0.030	0.043
	18 (火)	0.021	0.029
	19 (水)	0.022	0.033
	20 (木)	0.023	0.037
値	21 (金)	0.019	0.030
	22 (土)	(0.013)	(0.013)
	23 (日)	(0.014)	(0.027)
	24 (月)	(0.018)	(0.022)
	25 (火)	(0.018)	(0.030)
	26 (水)	(0.013)	(0.018)
	27 (木)	(0.028)	(0.036)
	28 (金)	**	**
	29 (土)	**	**
	30 (日)	**	**
	31 (月)	**	**
有効測定日数 (日)		21	
測定時間 (時間)		532	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.030	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.059	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.078	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



気象観測結果(風向・風速)[平成23年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (土)	1.7	2.6	NNW	N
	2 (日)	1.1	1.9	NNW	N
	3 (月)	1.5	2.7	N	N
	4 (火)	0.9	2.2	ESE	NNE, N
	5 (水)	1.3	2.6	NE	NE, N
	6 (木)	1.4	3.4	WNW	W
	7 (金)	1.5	2.6	WNW	NNW, N
	8 (土)	0.9	1.5	NNW	ESE
	9 (日)	1.0	2.1	W	W
	10 (月)	1.1	2.1	SW	SW
別	11 (火)	0.7	1.2	E	WNW
	12 (水)	0.8	1.9	WSW	ENE, ESE, WNW
	13 (木)	0.6	1.2	ESE	N
	14 (金)	1.2	2.2	NE	ENE
	15 (土)	1.2	4.4	SW	SSW
	16 (日)	1.7	3.2	WSW, W	WNW
	17 (月)	1.3	2.2	WNW	WNW
	18 (火)	1.2	2.4	NNE, N	N
	19 (水)	1.3	2.2	NE	N
	20 (木)	1.5	2.3	ENE	NE
値	21 (金)	1.6	3.1	E	ENE
	22 (土)	1.1	2.0	WNW	N
	23 (日)	1.2	2.1	W	NNW
	24 (月)	0.8	1.7	WNW	W
	25 (火)	1.9	4.4	NNW	WNW
	26 (水)	1.6	2.7	N	N
	27 (木)	1.2	2.1	ENE	NNE, NE, ESE, N
	28 (金)	1.1	2.0	ENE	N
	29 (土)	0.9	1.7	E	N
	30 (日)	1.1	2.2	NE	NE
	31 (月)	1.3	3.1	N	NNW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.2			
月最大風速 (m/s)		4.4			
月最多風向 (16方位)		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成23年10月分]

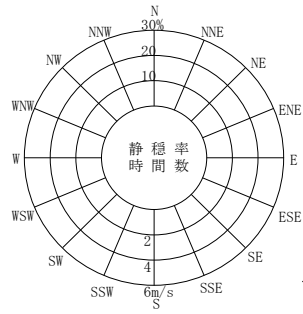
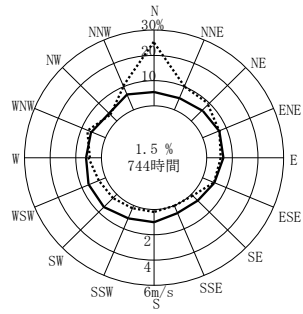
項目	方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数		74	71	51	40	39	7	2	9	12	21	27	40	55	28	74	183	11	744
頻度 (%)		10.0	9.5	6.9	5.4	5.2	0.9	0.3	1.2	1.6	2.8	3.6	5.4	7.4	3.8	10.0	24.6	1.5	—
平均風速(m/s)		1.0	1.3	1.4	1.3	1.0	0.8	0.7	1.0	1.2	1.4	1.6	1.4	1.3	0.9	1.4	1.2	0.3	—

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



— 平均風速  
- - - 出現頻度

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成23年10月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成23年10月分]

調査日：平成23年10月5日

調査点		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値	平均値
項目								
時刻		9:55	9:30	10:15	11:00	10:45	—	—
透明度	[m]	2.5	2.0	2.0	2.0	2.3	2.0 ~ 2.5	2.2
水温		24.2	24.4	24.2	25.3	24.5	24.2 ~ 25.3	24.5
	[°C]	25.3	25.4	25.2	25.3	25.1	25.1 ~ 25.4	25.3
塩分		28.7	27.5	28.7	30.2	30.9	27.5 ~ 30.9	29.2
	[—]	31.9	31.9	31.9	31.4	32.2	31.4 ~ 32.2	31.9
濁度		1	1	2	3	1	1 ~ 3	2
	[度(カリン)]	6	2	1	3	1	1 ~ 6	3
浮遊物質量 (SS)		2	3	2	3	2	2 ~ 3	2
	[mg/L]	6	3	3	5	6	3 ~ 6	5
水素イオン濃度 (pH)		7.8	7.9	8.0	8.0	8.0	7.8 ~ 8.0	—
	[—]	7.9	7.9	7.9	8.0	8.0	7.9 ~ 8.0	—
化学的酸素要求量 (COD)		1.6	3.8	2.0	2.1	2.2	1.6 ~ 3.8	2.3
	[mg/L]	1.8	1.8	1.6	1.6	1.8	1.6 ~ 1.8	1.7
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	6.0	6.3	6.6	6.6	6.8	6.0 ~ 6.8	6.5
	飽和度 [%]	84	88	93	96	97	84 ~ 97	92
全窒素 (T-N)		0.53	0.64	0.64	0.63	0.48	0.48 ~ 0.64	0.58
	[mg/L]	0.35	0.43	0.41	0.53	0.33	0.33 ~ 0.53	0.41
全燐 (T-P)		0.041	0.048	0.048	0.046	0.042	0.041 ~ 0.048	0.045
	[mg/L]	0.035	0.032	0.028	0.031	0.030	0.028 ~ 0.035	0.031
クロロフィル a (chl. a)		6	3	1	3	2	1 ~ 6	3
	[μg/L]	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 23 年 10 月分]

項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(ナリ)]	0.2	～	0.4	0.3
水温	[°C]	18.6	～	22.5	20.2
pH	[—]	7.8	～	8.1	8.0
COD	[mg/L]	2.2	～	5.1	3.0
DO (No. 1)	[mg/L]	8.3	～	9.6	8.9
DO (No. 2)	[mg/L]	7.1	～	8.7	7.6
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温は、分配槽の温度を測定</li> <li>・DOについては、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載</li> </ul>				

(定期測定)

調査日	時刻	放流水	
		水温	DO
		[°C]	[mg/L]
10/5 (水)	9:40	20.8	5.10
10/11 (火)	9:35	21.2	5.15
10/18 (火)	9:40	20.2	5.10
10/25 (火)	9:45	19.8	5.20
特記事項			

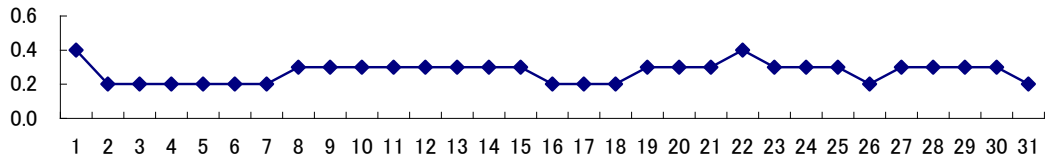
※ 定期測定：水温とDO（連続測定）は参考値のため、平成 22 年 11 月から週 1 回、放流水の簡易測定を行っており、その結果を示している。

水質様式第7号

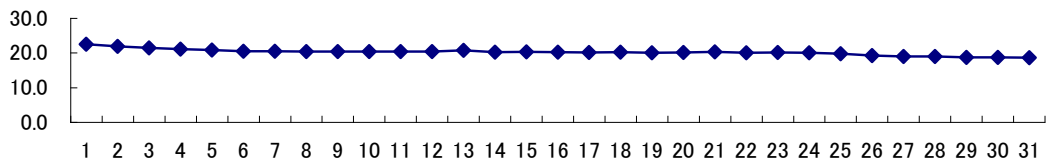
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成 23 年 10 月分]

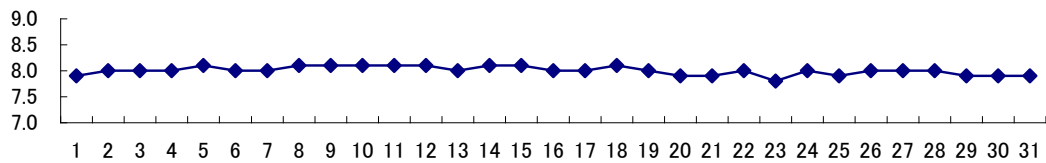
濁度[度(カリン)]



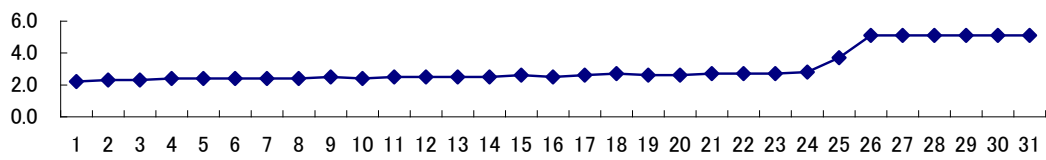
水温[°C]



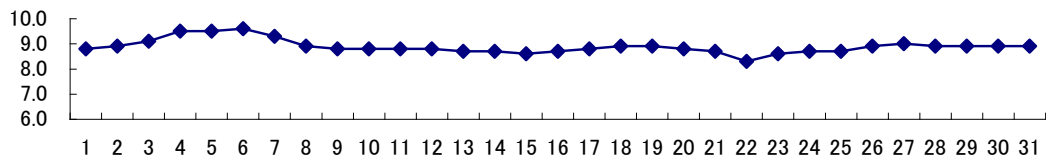
水素イオン濃度(pH)[-]



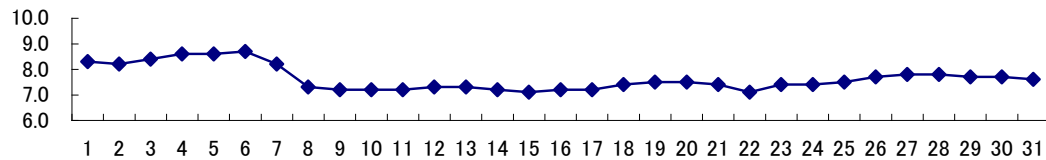
化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L] No. 1 接触酸化槽



溶存酸素量(DO) [mg/L] No. 2 接触酸化槽



→ (月/日)

水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成23年10月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	10/5 (水)	9:40	2.4	1.4	9:50	3.6
10/11 (火)	9:35	2.0	1.1	9:50	10	4.1
10/18 (火)	9:40	1.4	< 1	9:55	8.2	3.2
10/25 (火)	9:45	2.2	1.2	9:55	6.3	2.4
平均値	—	2.0	1.2	—	7.0	2.9
最小値	—	1.4	< 1	—	3.6	1.7
最大値	—	2.4	1.4	—	10	4.1

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成23年10月分]

調査日：平成23年10月5日

区分 項目	放流水	内水
時刻	9:40	9:50
pH[-]	8.1(22℃)	8.3(22℃)
COD[mg/L]	9.2	9.6
T-N[mg/L]	2.4	2.8

特記事項

環境騒音調査結果総括表[平成23年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成23年10月18日午後12時～10月19日午後12時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L <sub>5</sub>			L <sub>50</sub>			L <sub>95</sub>			L <sub>eq</sub>			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	51	43	56	49	46	51	47	42	50	50	47	51	虫、鳥、港湾作業
夜間	53	49	58	52	48	59	50	47	55	52	48	57	虫

注：1. L<sub>5</sub>、L<sub>50</sub>、L<sub>95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>eq</sub>の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

## 環境騒音調査結果[平成23年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成23年10月18日～19日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>eq</sub>	
06:00	昼間	C	60dB(A)	53	51	50	51	虫、鳥
07:00				51	50	49	50	虫、鳥、ヘリコプタ
08:00				53	51	48	51	虫、港湾作業、鳥
09:00				52	50	48	50	虫、港湾作業
10:00				52	49	48	51	港湾作業、鳥
11:00				56	49	47	51	港湾作業、虫、ヘリコプタ、鳥
12:00				43	47	42	47	鳥、虫、風
13:00				51	46	45	47	港湾作業
14:00				51	48	46	49	港湾作業、船舶、鳥
15:00				51	49	47	49	港湾作業、鳥、虫
16:00				52	49	48	50	鳥、港湾作業、風
17:00				52	49	47	50	虫、鳥、風
18:00				52	49	48	50	虫、風、ヘリコプタ
19:00				49	48	47	48	虫、風
20:00				50	48	47	48	虫、風、港湾作業
21:00	50	48	47	48	虫			
22:00	夜間	C	50dB(A)	49	48	48	48	虫
23:00				50	48	47	48	虫
00:00				51	50	49	50	虫
01:00				53	51	50	51	虫
02:00				53	50	50	51	虫
03:00				54	52	51	52	虫
04:00				57	54	51	54	虫
05:00				58	59	55	57	虫
最小値				43	46	42	47	
最大値				58	59	55	57	
平均値				52	50	48	51	

注：1. L<sub>5</sub>、L<sub>50</sub>、L<sub>95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>eq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
 2. 環境基準はL<sub>eq</sub>である。



低周波空気振動調査結果総括表 [平成23年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成23年10月18日午前12時～10月19日午後12時

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L <sub>5</sub>			L <sub>50</sub>			L <sub>95</sub>			L <sub>max</sub>				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
74	73	75	71	69	72	69	67	70	80	76	87	0.0	4.1

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果[平成23年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成23年10月18日～19日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	最小	最大
06:00	70	69	67	74	0.0	0.9
07:00	72	70	68	75	0.0	2.7
08:00	70	68	67	77	0.0	2.0
09:00	74	72	70	76	0.2	1.9
10:00	74	72	70	82	0.3	2.7
11:00	74	72	70	76	0.0	2.7
12:00	73	70	68	77	0.0	1.7
13:00	75	71	69	79	0.2	2.8
14:00	74	71	70	77	0.3	2.8
15:00	73	71	70	78	0.2	2.1
16:00	75	71	69	87	0.3	3.4
17:00	75	69	67	87	0.4	4.1
18:00	72	68	66	82	0.2	3.3
19:00	71	67	65	77	0.2	2.7
20:00	72	68	65	79	0.2	2.8
21:00	67	64	63	74	0.0	1.7
22:00	64	62	60	68	0.0	2.0
23:00	63	62	60	65	0.0	1.6
00:00	63	61	60	69	0.0	1.3
01:00	64	61	58	73	0.0	1.3
02:00	64	62	61	70	0.3	1.2
03:00	64	62	61	67	0.0	1.6
04:00	67	63	62	74	0.0	1.8
05:00	68	67	65	72	0.0	1.5
最小値	63	61	58	65	0.0	0.9
最大値	75	72	70	87	0.4	4.1
平均値	70	67	65	76	0.0	2.0